リチウムイオン電池のリサイクルの市場調査レポート：企業・地域・種類・用途別の分析と市場予測

HJResearchでは、「リチウムイオン電池の世界市場：成長、動向、予測」調査資料の販売を2023年9月27日に開始いたしました。本調査レポートは、リチウムイオン電池の世界市場について調査・分析した資料で、リチウムイオン電池の市場概要、動向、セグメント別市場規模、地域別分析、競争状況、企業情報、市場機会分析などで構成されています。

リチウムイオン電池のリサイクルとは、リチウムイオン電池に含まれる材料を再利用することを指します。主な再利用対象としては、リチウム、コバルト、ニッケル、マンガンなどが挙げられます。

リチウムイオン電池のリサイクルは、環境および経済的観点から重要です。リチウムイオン電池に含まれる貴重な金属を再利用することで、資源の枯渇や廃棄物の生成を抑制することができます。また、リチウムイオン電池の需要が急速に増加していることもあり、リサイクルビジネスは今後ますます重要になっていくでしょう。

世界のリチウムイオン電池のリサイクル市場は、2022年時点で約3497億円とされています。CAGRは22%という高い成長率が見込まれています。リチウムイオン電池のリサイクル市場は、車両や輸送、産業、電力など様々な分野で使用されています。たとえば、自動車業界においては、電気自動車の需要の増加に伴いリチウムイオン電池の需要も高まっています。そのため、リサイクル市場も拡大すると予想されます。

主要な世界的メーカーは、Umicore、Glencore、Retriev Technologies、Raw Materials、International Metals Reclamation、Metal Conversion Technologies、American Manganese (Ami)、Sitrasa、Tes-Amm、Li-Cycle Technology、Neometals、Recupyl Sasなどです。これらのメーカーは、リチウムイオン電池のリサイクル技術を持ち、リサイクル事業に注力しています。今後も、より効率的で環境に優しいリサイクル技術の開発が進むことが期待されています。

リチウムイオン電池のリサイクル産業のSWOT分析は以下の通りです。

【強み】
リサイクル事業が社会的に求められていること。
再利用可能な材料が多く、貴重な金属や希少資源を再利用できること。
リサイクル事業を行うことで、廃棄物の減量や廃棄物の処理にかかるコストの削減ができること。
リチウムイオン電池の需要が急速に増加しており、リサイクル事業も拡大する可能性があること。

【弱み】
リサイクル技術の開発や改良には費用がかかること。
リサイクルプロセスにおいて、化学物質を扱うため環境汚染や健康への影響が懸念されること。
リチウムイオン電池を使用する製品自体の寿命が比較的短いため、リサイクルできる対象が限られること。
需要拡大に伴い、供給不足や価格上昇のリスクがあること。

【機会】
リサイクル技術の改良や開発により、コスト削減や再利用可能性の向上が期待されること。
電気自動車の普及によって、リチウムイオン電池の需要が増加することが予想されるため、リサイクル事業の市場拡大が期待されること。
持続可能な社会の実現に向けて、リサイクル事業に対する需要が高まっていくことが見込まれること。

【脅威】
競合他社の参入による市場競争の激化が予想されること。
リサイクル技術の改善により、製品自体の使用期間が延びることでリサイクル対象が減少する可能性があること。
環境問題に対する関心の高まりにより、リサイクル業界に対する規制が強化される可能性があること。
原料不足や政治的な不安定要因によって、リチウムイオン電池の価格が大きく変動するリスクがあること。

グローバルリチウムイオン電池のリサイクル市場の主要企業は次のとおりです：
Umicore
Glencore
Retriev Technologies
Raw Materials
International Metals Reclamation
Metal Conversion Technologies
American Manganese (Ami)
Sitrasa
Tes-Amm
Li-Cycle Technology
Neometals
Recupyl Sas

製品タイプ別の市場セグメンテーション：
リチウムニッケルマンガンコバルト
リチウム鉄リン酸塩
リチウム-酸化マンガン
LTO
NCA
LCO

用途による市場セグメンテーション：
車両
輸送

産業
電力

■レポートの言語：日本語
■レポートのタイトル：リチウムイオン電池のリサイクルの市場調査レポート：企業別、地域別、種類別、用途別、市場予測（2018-2029）
■出版社：HJResearch
■レポート形態：PDF（Eメールによる納品）

■主な掲載内容
リチウムイオン電池のリサイクルの市場ダイナミクス分析
リチウムイオン電池のリサイクルの大手企業分析：Umicore、Glencore、Retriev Technologies、Raw Materials、International Metals Reclamation、Metal Conversion Technologies、American Manganese（Ami）、Sitrasa、Tes-Amm、Li-Cycle Technology、Neometals、Recupyl Sas（企業概要、製品概要、販売量、売上高、価格等）（2018 2023）
リチウムイオン電池のリサイクルの種類別世界市場規模（販売量と売上高）（2018 2023）
リチウムイオン電池のリサイクルの用途別世界市場規模（販売量と売上高）（2018 2023）
リチウムイオン電池のリサイクルの北アメリカ市場規模（販売量、売上高、輸出入）（2018 2023）
リチウムイオン電池のリサイクルのヨーロッパ市場規模（販売量、売上高、輸出入）（2018 2023）
リチウムイオン電池のリサイクルのアジア太平洋地域市場規模（販売量、売上高、輸出入）（2018 2023）
リチウムイオン電池のリサイクルのラテンアメリカ市場規模（販売量、売上高、輸出入）（2018 2023）
リチウムイオン電池のリサイクルの中東・アフリカ市場規模（販売量、売上高、輸出入）（2018 2023）
リチウムイオン電池のリサイクルの世界市場予測：地域別、種類別、用途別（2024-2029）
マーケティング経路の分析（ダイレクトマーケティング、間接マーケティング）
リチウムイオン電池のリサイクルの産業チェーン分析（上流主要原料、下流主要消費者）
付録（調査方法、情報源、著者情報等）

■レポートの詳細内容・お申込みはこちら

日本語レポートリンク：https://www.hjresearchjapan.com/lithium-ion-battery-recycling-market-report-p271411.html

■ご購入検討用にレポートサンプルのご提供や試読サービスなども行っております（無料）。

■本件に関するお問合せ先
HJResearch
マーケティング担当 jason@hjresearch.com

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com